

中小企業マーケット TOKYO2022 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応指針

■はじめに

本展示会開催にあたり、主催者及び事務局では政府、東京都、業界団体、会場施設などのガイドラインを参考に「新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応指針」を作成し、徹底した感染症対策を実施いたします。出展者・来場者の皆様におかれましては、本指針の内容をご確認・ご理解をいただきました上で本展示会へのご参加をお願い申し上げます。

なお、本指針の内容については、各機関の指針変更などを踏まえて必要に応じた見直しや改訂を行うことがあります。変更があった際は、公式ウェブサイトでの告知や事務局からのメール配信などでご案内いたします。

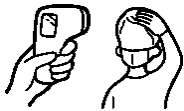
会場内における新型コロナウイルス感染症対策（概要）



■バーコード来場者証を活用した入退場チェックを採用し、滞在人数をリアルタイムで把握・モニタリングします。



■入場者の健康管理を徹底します。(37.5度以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、息苦しさなど自覚症状がある方の入場はお断りします。)



■会場前で来場者の一人一人に、サーモグラフィーや非接触体温計等による体温測定を行います。



■すべての参加者（出展者、来場者、主催者、協力会社等）のマスク着用を義務付けます。また、非着用者には無料配布し着用いただきます。



■会場入口、会場内各所に消毒液を設置し、手指の消毒と接触部分の消毒を徹底します。



■展示場・控室及び共用部分での定期的な空気の入替えを行います。

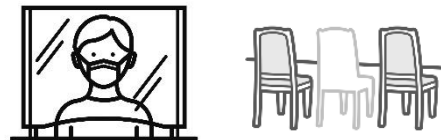


■会場内の通路・待機列におけるソーシャルディスタンス確保を徹底します。

■セミナー会場や商談コーナーでは、飛沫防止対策及び座席間隔調整によるソーシャルディスタンス確保を徹底します。



■救護所を設置して体調不良者への対応を徹底します。



■主催者・事務局が行う具体的な取り組みについて

<会期前>

1. 会場レイアウトについて、展示ホール内の通路幅はすべて3m以上とし、ソーシャルディスタンスの確保を意識した余裕を持ったレイアウトとします。また、人が集まる受付やセミナー会場では「非接触」の取り組みを推奨するなど、「密閉」、「密集」、「密接」を発生させないよう心がけます。
2. セミナーや企画展示について、30分以上の間隔を空けるなど余裕を持ったプログラムで構成します。
3. 全参加者（来場者、出展者、協力会社、運営スタッフ、その他関係者など）に対して、マスクを常時着用していただくことを予め告知します。
4. 全参加者に対して、以下の場合は参加を控えるよう予め告知します。
 - ① 37.5度以上の発熱がある場合
 - ② 体調がすぐれない場合（味覚・臭覚異常や疲労倦怠感、息苦しさを覚える時などを含む）
 - ③ 保健所等の健康観察下にある場合
 - ④ 政府が指定する期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航並びに当該在住者との濃厚接触（当該期間に帰国した方と接触した場合も含む）がある場合
5. 全参加者に対して、感染症に対する注意喚起と手洗い、手指消毒励行を予め告知します。
6. 全参加者に対して、オンラインでの事前来場登録を促し、連絡用リストを作成します。
7. 感染疑い発生時の対応マニュアルを作成し、運営関係者で共有、周知徹底します。
8. 多数の人が密集する併催行事（開会式、出展者交流会）は自粛します。
9. オンラインによる事前・事後コンタクト、会期中の計画的な商談アポイントの推進を強化します。
10. 全参加者に対して、「東京版新型コロナ見守りサービス」及び「厚生労働省新型コロナ接触確認アプリ」の活用を推進します。
11. 東京都に対し、「全国的又は大規模イベント開催事前情報シート」を提出して情報提供します。

<会期中>

1. 運営スタッフの体温測定と記録、健康チェックを徹底し、発熱など体調がすぐれないスタッフの勤務は停止します。（同様の対策を協力会社、出展者にも要請します）
2. 会場の出入口付近に隔離スペースを設け、看護師を常駐させます。
3. 全参加者に対して、入場時にサーモグラフィー、非接触体温計等を用いた体温測定を実施し、37.5度以上の方は原則として入場をお断りします。
4. 来場者及び主催事務局関係者の氏名、連絡先を名簿として管理します。感染者発生時には感染経路特定等の理由により最低限必要となる個人情報を政府機関・自治体の要請により開示することがあります。また、「東京版新型コロナ見守りサービス」及び「厚生労働省新型コロナ接触確認アプリ」の案内を会場内に掲示し、利用を促進します。
5. 展示会場内及びセミナー会場の混雑状況を常時監視し、参加者同士がソーシャルディスタンスを確保できないと思われる場合は入場制限を行います。（人数制限は、政府・会場等のガイドラインの最大収容人数を参考に管理いたします。）
6. 出入口のほか搬入出口シャッターや非常扉などを可能な限り開放し、運営・安全面で支障がない範囲で会場内の換気に努めます。
7. 出入口、セミナー会場、トイレ前、休憩スペース等に消毒液を設置し、参加者に使用を促します。

8. 全参加者に対して、マスクの常時着用と感染症に対する注意喚起と手洗い、手指消毒励行を会場内サイン・看板、場内アナウンスにおいて周知します。
9. 受付、セミナー会場など待機列が予想される場所には、ソーシャルディスタンス確保の工夫を行います。
10. 受付、インフォメーション、セミナー会場など参加者同士が対面で接する場では、資料の手渡しなどを極力避けて「非接触」の取り組みを推奨します。また、必要に応じて飛沫感染防止対策を行います。
11. 受付、セミナー会場などでの誘導時に大声での誘導、アナウンスはしません。
12. トイレやドアノブ等の共用部、テーブル、イス、マイク等の備品を定期的に消毒します。
13. 出展者による展示行為以外での施設内への酒類の持ち込みは不可とします。

<会期後>

1. 展示会終了後、万が一参加者に感染者がいたことが判明した場合に備えて、個人情報の取扱いに注意しながら、参加者の情報を適正に管理します。

■出展者の皆様へのごお願い

1. 搬入出期間中及び開催期間中は、出展者および委託する外注先スタッフの日別名簿（氏名・緊急連絡先）を必ず作成し、自社で管理してください。必要に応じて事務局より提出をお願いする場合がありますので保健所等の公的機関へ提出され得ることの事前周知と承諾をお願いします。
2. 展示会場へ入場する出展関係者の方は、必ず出展者証を着用してください。
3. 入場時にサーモグラフィー、非接触体温計等を用いた体温測定を実施し、37.5度以上の方は原則として入場をお断りします。
4. 入場時には手指消毒をお願いします。
5. 会場内ではマスクの常時着用をお願いします。
6. ブース内では衛生環境の維持と飛沫感染防止対策を徹底するとともに、出展者・来場者ともに密集・密接にならないよう配慮をお願いします。ブース装飾はソーシャルディスタンスの確保を意識して余裕を持って設計し、セミナーや実演をする場合は、レイアウトの工夫や時間の調整などの配慮をお願いします。
7. 以下の場合は、ご参加をお控えください。
 - (ア) 37.5度以上の発熱がある場合
 - (イ) 体調がすぐれない場合（味覚・臭覚異常や疲労倦怠感、息苦しさを感ずる時などを含む）
 - (ウ) 保健所等の健康観察下にある場合
 - (エ) 政府が指定する期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航並びに当該在住者との濃厚接触（当該期間に帰国した方と接触した場合も含む）がある場合
8. オンラインによる来場者との事前・事後のコンタクト、商談アポイントを積極的にご活用ください。可能であれば日別の商談予定表を作成し、自社で管理してください。
9. 展示ブース内での試飲・試食を行う場合はエリアを限定し、感染防止策を徹底してください。また、展示物を除き施設内への酒類の持ち込みは不可とします。休憩時間等の飲食については、会場内やホール外共用部分の休憩スペースをご利用ください。

■来場者の皆様へのお願い

1. 展示会場へ入場するためには来場登録が必須となります。必ず公式ウェブサイトから事前来場登録をお済ませの上、ご来場ください。感染者が発生した場合に備えて、緊急連絡先としてメールアドレスもしくは携帯電話番号の登録をお願いします。必要に応じて保健所等の公的機関へ提出され得ることの事前周知と承諾をお願いします。
2. マスクの着用をお願いします。(着用されない方の入場はお断りいたします)
3. 入場時にサーモグラフィー、非接触体温計等を用いた体温測定を実施し、37.5度以上の方は原則として入場をお断りいたします。
4. 入場の際は、手指消毒をお願いします。
5. 受付、セミナー会場等ではソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。
6. 以下の方々は、ご来場を控えてください。
 - ① 37.5度以上の発熱がある場合
 - ② 体調がすぐれない場合(味覚・臭覚異常や疲労倦怠感、息苦しさを覚える時などを含む)
 - ③ 保健所等の健康観察下にある場合
 - ④ 政府が指定する期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航並びに当該在住者との濃厚接触(当該期間に帰国した方と接触した場合も含む)がある場合
7. 飲食を行う場合は休憩スペースのみとします。施設内への酒類の持ち込みは不可となります。
8. オンラインによる出展者とのコンタクト、商談アポイントを積極的にご活用ください。
9. 「東京版新型コロナ見守りサービス」及び「厚生労働省新型コロナ接触確認アプリ」の積極的なご活用をお願いします。

事務局では、出展者・来場者をはじめとした全参加者の安全を第一に考えるとともに、皆様の貴重なご商談の機会となる本展示会を安全・安心に開催できるよう最大限の努力をしております。皆様には、引き続き本展開催に向けてのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

中小企業マーケット TOKYO2022 会場での試飲・試食における感染症対策の手引き

飲食物の商談において、試飲・試食は大きな効果を発揮しますが、その実施に際しては十分な感染症拡大防止対策が求められます。新型コロナウイルスの感染拡大を防止しつつ、皆様が試飲・試食を安全に行うためにも、各事項の徹底にご協力をお願いいたします。

■基本的な考え方

試飲・試食を実施される際は、保健所への事前届出が必要となります。

必ず事務局へ提出期限内に「試飲・試食申請書」の提出を行い、届出に伴う保健所からの指示には従ってください。（詳細は出展者マニュアルを参照）

また、現場では「接触」と「飛沫」に十分注意し、以下の対策を行ってください。

- ・密集・密接防止のため、集客だけを目的とした試食の提供やサンプルの配布は控える。
- ・試食は出展者の目の届くところで管理し、声を掛けられてから提供する。
- ・試食の提供時に密が発生しそうな場合、間隔を空けるよう声掛けや誘導をする。
- ・飛沫防止のため、来場者がマスクを外している間は質問せず、着用してから会話する。

■感染症対策に用意することが望ましいもの

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 手洗い石鹸 | <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋 |
| <input type="checkbox"/> ペーパータオル | <input type="checkbox"/> 使い捨て容器 | <input type="checkbox"/> ごみ箱（蓋付き） | <input type="checkbox"/> ごみ袋 など。 |

■試飲・試食準備時の注意事項

- ・作業前に手洗い・手指消毒をする。
- ・作業中はマスク・使い捨て手袋を着用し、作業中の会話は控える。
- ・調理器具（包丁、まな板を含む）はこまめに洗浄・消毒する。
（特に、複数名で共同利用する場合は使用前に必ず洗浄・消毒）
- ・使いまわしの雑巾やダスターではなく、ペーパータオルを使用する。
- ・食中毒や異物混入にも十分配慮する。

■試食の提供時

- ・試食提供者は作業前に手洗い・手指消毒をし、マスク・使い捨て手袋を着用する。
- ・試食は1食分ずつ小分けにし、使い捨ての容器を使用する。また、作り置く場合は飛沫防止のために蓋かラップをかける。
- ・つまようじ・フォークなどは1食分ずつ添えて提供する。
- ・食べやすい・飲みやすいサイズで提供する。
- ・試食前に手指消毒を希望する来場者のために消毒液を準備する。
- ・試食は直接手渡しをせず、お盆などを介して提供する。

- ・試食後に出たごみは来場者に自ら捨ててもらえるよう、ごみ箱を設置する。ごみ箱には蓋をするか、密閉してこまめに廃棄する。

好ましくない例

- ・来場者自身が素手や爪楊枝などで大皿から直接試食品をとる。
- ・来場者の手にトング等で直接試食品を渡す。
- ・来場者が自ら使いまわしのトング等を使って試食品をとる。
- ・一度口を付けた試食容器に追加の試食を入れる。(特に飲料の場合は注意)

■廃棄物の処理について

マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋などウイルスが付着しているおそれのあるものや、試飲・試食に使用して唾液の付いた廃棄物は、ビニール袋等に入れて密封した上で所定の廃棄所へお持ちください。無償で処理いたします。(目的外の使用は禁止とします。)

なお、上記以外の廃棄物は出展者の責任においてお持ち帰りいただくか有償にて処理いたします。

■ブース責任者様へのお願い

搬入日も含め、会期中の自社及び外注先スタッフの管理については、以下の各項目のご徹底をお願いいたします。

- 自社及び外注先スタッフの連絡先及び勤務状況を記した名簿を作成する。
- 毎日の検温と体調確認を記録する。

(特に、発熱時や体調が優れない場合は会場に来ないようにご徹底ください。)

上記2点の記録については、会期終了後3週間は保管するようにしてください。

- 東京版新型コロナ見守りサービス及び新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を活用する。
- マスクの着用、こまめな手洗いと手指消毒、ソーシャルディスタンス確保を徹底する。
- 朝礼、終礼における掛け声や大きな会話を控える。
- 会期中の商談、説明・実演時も含め、大声での会話や呼び込みを控える。
- 大人数での打上げ・会食は控え、やむを得ず行う場合は対策を徹底した飲食店を利用する。
- 来場案内リーフレットをお送りして招待される際は、以下の3点をお伝えください。
 - ・事前来場登録が必要であること。
 - ・入場時の検温を行うこと、マスクの着用が必須であること。
 - ・発熱時など体調が優れない場合は来場を自粛いただくこと。

以上